

宗内寺院紹介 **68**

信越教区小県部

八日堂 信濃国分寺



- ①国分寺境内(ドローン撮影) ②長野県宝の「本堂」
 ③国重文「三重塔」と藤の花
 ④「八日堂縁日」の賑わい(毎年1月7日～8日)
 ⑤伝統の護符「蓼民将来符」
 ⑥「本堂」と蓮の花(本堂北側の休耕田に平成16年より育てています)

聖武天皇の勅願で諸国に国分寺が創建されたが、上田の地に建てられた信濃国分寺は発掘調査により、僧寺・尼寺ともに当時の伽藍配置がほぼ明らかになり、跡地は史跡公園として整備されている。当初の国分寺は平将門の乱に巻き込まれて焼失したとされ、後に約三〇〇m北方の現在の地に寺域が移転したが漸次衰退に向かったようだ。室町時代には地域民衆の信仰の中心となり、八日堂の市は当地の交易の場ともなった。また民間の蓼民将来信仰も取り入れ、この信仰による護符は有名である。戦国時代には一時荒廃したが、江戸時代に入ると諸堂の再建が進み、特に江戸末期に建立された現本堂(薬師堂)は重層の壮大な伽藍である。境内にはこの本堂(長野県宝)や三重塔(国重文)をはじめ諸堂が整い、近年は住職や地域のボランティアが育てた蓮の花が人気を呼んでいる。

信越教区小県部

八日堂 信濃国分寺

住 所 / 〒386-0016 上田市国分1049

電話番号 / 0268-24-1388

ホームページ / shinano-kokubunji.or.jp